

富山県臨床工学技士会

第21号 (2005.6) ニュース

発行日 平成17年6月27日
 発行人 富山県臨床工学技士会 森田 猛
 事務局 〒930-0194 富山市杉谷 2630
 富山医科薬科大学附属病院手術部内
 TEL 076-434-7760(ダイヤルイン)
 FAX 076-434-5080
 e-mail office@toyama-ce.gr.jp
 URL http://www.toyama-ce.gr.jp

臨床工学部門の更なる充実を

富山県臨床工学技士会 会長 森田 猛



4月24日に開催された平成17年度通常総会後の本年度第1回理事会にて会長に指名されました。平成3年6月16日の当会設立以来、会計担当理事、そして前期は副会長を務めさせていただき、今日まで裏方として当会のために微力ながら尽くしてまいりました。この上は誠心誠意つとめる所存でございますので、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

本年度通常総会、第24回研修会も無事終了し、そして5月29日に開催致しました恒例の「心電図セミナー(初級コース)」も例年通り盛会裡に終えることができ、役員一同一息ついているところです。今後の大きな事業としては9月に第25回臨床工学研修会、そして10月には「心電図セミナー(中級コース)」を予定しており、総会時にご承認いただきました事業計画を履行すべく邁進してまいりたいと存じます。また近年新卒で県内に就職された若い会員も増えてまいりました。今年度は会員相互の親睦をはかるために例年の忘年会だけでなくレクリエーションも開催してはどうかと個人的に考えております。

さて、ここ数年全国的な傾向ですが、富山県内でも公的病院に急速に新規の臨床工学技士の採用が進みました。これは一つには病院側が病院機能評価の認定を目指しており、認定を受けるためには医療機器の管理部門が必須条件であることがあげられます。これは私たちにとっては朗報であり、同時に医療機器の管理が徹底されることは機器の安全性の向上にもつながり、患者様にとって有益であることは間違いありません。他の医療スタッフの皆様にとりましても機器を活用していく上で安心感を提供できるものと考えます。

しかし、新規に臨床工学技士を採用した病院ではまだ技士一人で臨床業務(たとえば血液透析業務)と機器管理業務を行っているところが多いように思います。これでは技士一人に負担が集中し、かえって業務効率の低下を招くといったことも考えられます。今後は二人目、三人目の臨床工学技士を採用し、臨床工学部門を充実して頂きたいと考えております。厚生労働省が行っている「医療機器管理室設置に対する補助制度」も活用すれば更に充実した臨床工学部門を構築できるのではないのでしょうか。

一方、既に複数の臨床工学技士が活躍している病院では、どの業務にどのように人員を配置するかということも効率よくそして安全に業務を行っていく上で大変重要になっていくのではないのでしょうか。また臨床業務においては他のコメディカルスタッフ、特に看護師さんとの業務内容の区別なども課題ではないかと思えます。会員の皆様の更なるご活躍を祈念致します。

話は変わりますが、本年度の事業の一つに当会の「社団法人化の検討」があります。今後法人化へ向けての基礎知識の習得、調査を行う等、活動してまいりたいと考えております。どうか皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

